



平成 18 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 遠 藤 製 作 所  
(JASDAQ・コード番号：7 8 4 1)  
代 表 者 代表取締役社長 小 林 健 治  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 牛 坊 芳 明  
役 職 ・ 氏 名  
電 話 番 号 0256-63-6111

## 中期経営計画について

当社グループは、このたび当期を含む3カ年の「中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 計画の期間

計画期間は、第57期（平成19年3月期）から第59期（平成21年3月期）までの3カ年です。なお計画目標を、第59期において売上高200億円、営業利益30億円を目指すことといたしました。

当社グループは平成16年3月期にゴルフ事業の大幅な売上高減少により多額の損失を計上する結果となりましたが、その後緩やかではありますが回復基調となっており、平成18年3月期におきましても、ゴルフ事業、フォージング（自動車等鍛造部品）事業の売上が順調に推移したことからほぼ計画に近い収益をあげることができました。

このたび、さらなる業績発展に向け中期経営計画（平成17年5月16日公表）の見直しを行い、平成21年3月期を追加する中期経営計画を策定いたしました。

### 2. 中期経営計画の基本方針

当社グループを「鍛造技術と塑性加工技術を中核とした金属製品加工業」と位置付け、ゴルフクラブ（ヘッド）、ステンレス製品、フォージング（自動車等鍛造部品）を中心事業とし、運営してまいります。

市場ニーズの多様化、グローバルスタンダードによる国際価格競争の激化等に対応できる事業を確立するための経営改革を実行するとともに、新たな付加価値を創出する製造技術力のアップなど高収益グループへの持続的な成長の実現を目指しております。

### 3. 事業別重点施策

#### (1) ゴルフ事業（アイアン製品およびウッド製品）

ゴルフクラブ業界におきましては、市場の低迷及び価格のデフレ化傾向は当面続くものと見込まれますが、当社グループ（本社及びタイ工場）は生産技術力・生産性の向上による受注の拡大、適正価格の供給を目指します。

#### (重点施策)

- ・ 生産技術力の強化、新素材の研究等により開発力を強め、差別化した新商品の提供による受注拡大を目指す
- ・ 海外市場の見直しを図り、新規取引先の開拓により受注拡大につなげる
- ・ 設備投資による増産体制の確立を目指す
- ・ 生産ラインの整備・改善による生産性の向上を図る
- ・ コスト低減を実現し、ユーザーニーズに適応した価格の提供により受注の拡大につなげる 等

(2) ステンレス事業

ステンレス事業におきましては、ステンレス製ワイヤー製品の受注減少に伴いこれを廃止し、ステンレス製極薄管（メタルスリーブ）関連に特化した生産体制の増強を目指します。

（重点施策）

- ・ ステンレス製極薄管（メタルスリーブ）の増産体制強化を図る
- ・ 付加価値製品（表層）への技術挑戦を目指す
- ・ 国内外の新規取引先の販路開拓を図る
- ・ 新規用途（分野）の開発・技術力の強化を目指す 等

(3) フォージング（自動車等鍛造部品）事業

フォージング事業におきましては、生産をタイ工場（ENDO FORGING (THAILAND) CO., LTD.）において行っております。タイ国内の市場拡大及び自動車生産の世界拠点として、日本の自動車メーカーの好調が見込まれ、今後ますます受注が増加すると予想されることから、製品供給力の拡大を図りながら、さらなる利益体質の強化を目指します。

（重点施策）

- ・ 設備投資等による製品供給力の拡大を図る
- ・ トランスファーの本格稼働等により全体の稼働率アップにつなげることで、コスト低減を実現し競争力の強化を図る
- ・ 熱処理、機械加工等による付加価値製品への技術挑戦を目指す 等

4. 中期経営計画（ローリング）における数値目標

（単位：百万円）

摘要	年度	平成 18 年		平成 19 年 3 月期（予想）	平成 20 年 3 月期（目標）	平成 21 年 3 月期（目標）
		3 月期				
		中期経営計画	（実績）			
売上高		11,627	12,430	15,035	17,000	20,000
ゴルフ事業		7,775	8,442	9,723	10,900	12,000
アイアン製品		5,249	5,883	6,113	6,200	6,500
ウッド製品		2,185	2,293	3,281	4,300	4,800
その他		340	265	329	400	700
ステンレス事業		1,243	1,069	1,256	1,800	3,000
フォージング事業		2,608	2,917	4,054	4,300	5,000
売上総利益		2,325	2,224	3,287	3,800	4,500
営業利益		1,129	906	1,817	2,300	3,000
ゴルフ事業		639	558	1,377	1,700	2,000
アイアン製品		652	754	1,311	1,300	1,400
ウッド製品		▲224	▲353	▲213	200	300
その他		212	156	279	200	300
ステンレス事業		438	323	363	500	700
フォージング事業		492	515	604	640	850
セグメント別配賦不能費用		▲440	▲490	▲528	▲540	▲550
（営業利益率）		(9.7%)	(7.3%)	(12.1%)	(13.5%)	(15.0%)

\*平成 17 年度中期経営計画レビュー

売上高はゴルフ事業のアイアン製品、フォージング事業が順調に推移した結果、中期経営計画目標を約 800 百万円上回りました。（前年同期比 21.5%増） 営業利益はゴルフ事業のウッド製品のコスト削減が未だ充分に図れなかったこと、ステンレス事業で取引先の在庫調整等の影響があり目標を約 220 百万円下回りました。（前年同期比 56.3%増）

以上

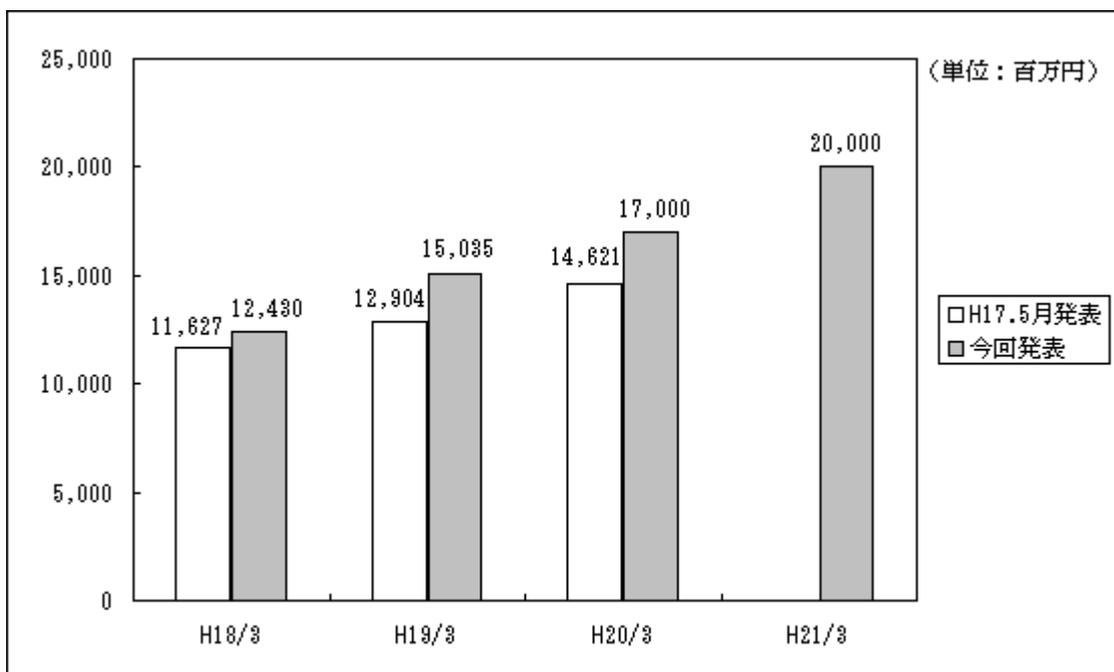
【当中期経営計画に関する注意事項】

この中期経営計画は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる場合がありますことをあらかじめご承知おきください。

<参考>

前中期経営計画（平成17年5月発表）と今回発表の対比表

（売上高）



（営業利益）

